

④ クラッチと歯車変速機とを持つ動力伝達装置の
変速段検出装置

① 実 願 昭50-26029

② 出 願 昭50(1975)2月27日

③ 考 案 者 河合清雄

豊田市平和町4の48

同 関森俊幸

豊田市トヨタ町8

④ 出 願 人 トヨタ自動車工業株式会社

豊田市トヨタ町1

⑤ 代 理 人 弁理士 石山博 外1名

⑥ 実用新案登録請求の範囲

複数の変速段を持つ歯車変速機の入力軸回転数に比例する電気信号およびその出力軸回転数に比例する電気信号を与えられる入力端と前記変速段の数に相当する出力端とを持つ比較回路、この比較回路の出力端にそれぞれ接続されるデータ入力

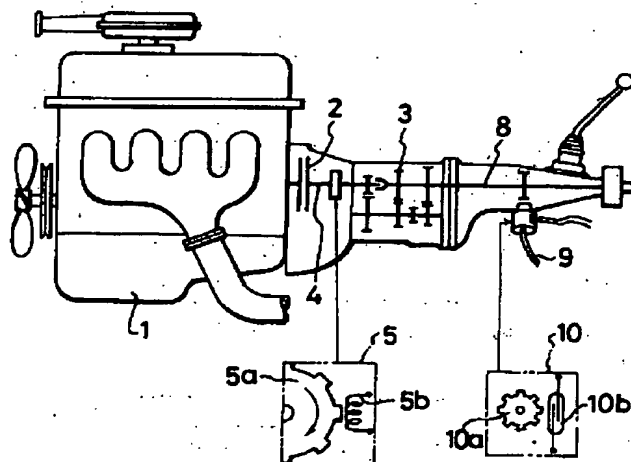
端とクロック端子とを持つデータ記憶及安定回路、クラッチの投入に連動して電気信号を受ける単安定回路、およびこの単安定回路の時定数に相当する時間にだけ遅れて信号を発生する論理回路を備え、この論理回路の出力端がすべての前記安定回路のクロック端子に接続されていることを特徴とする、クラッチと歯車変速機とを持つ動力伝達装置の変速段検出装置。

図面の簡単な説明

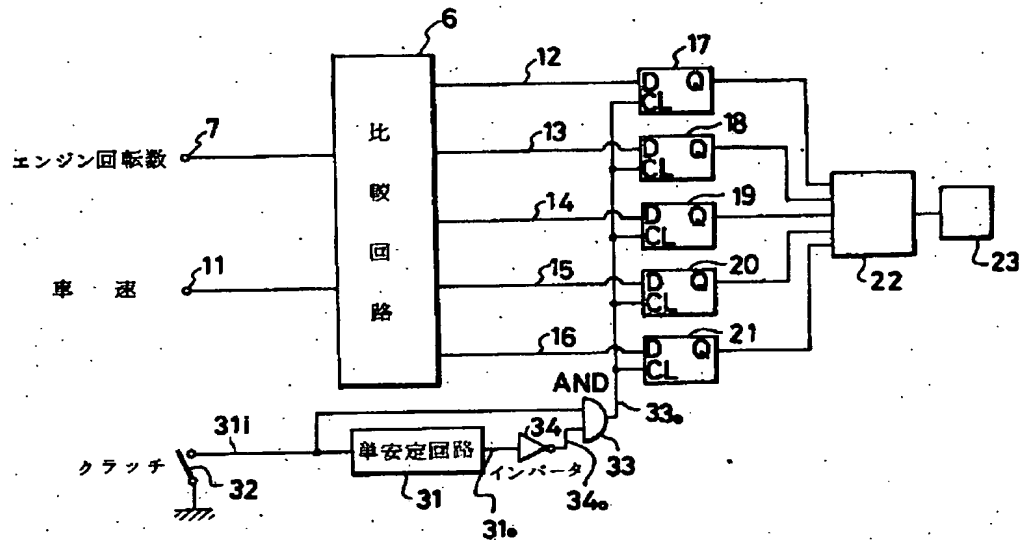
第1図は動力伝達装置の概略構成図、第2図は本考案による検出装置の接続図、第3図および第4図はその作用を説明する線図である。

2はクラッチ、3は歯車変速機、4は入力軸、5、10は回転数発信器、6は比較回路、7、11は入力軸、8は出力軸、12-16は出力端子、17-21はデータ記憶及安定回路、22はカウンタ、23は表示回路、31は単安定回路、32はスイッチ、33はAND回路。

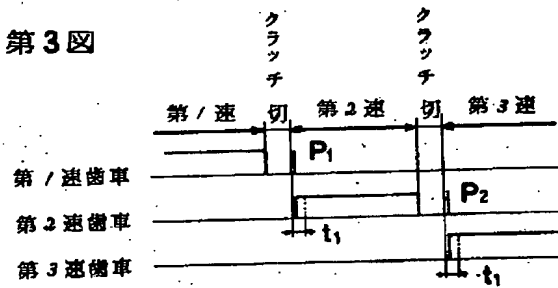
第1図



第2図



第3図



第4図

